



この本にひとめぼれ！



『ヌカカの結婚 虫たちの不思議な性戦略』 森川 幸人／著 新紀元社 **486.1円**



このかわいい表紙とタイトル。どんなファンタジーが待っているのでしょうか。サブタイトルが示すように、この本では、昆虫が自らの子孫を残すためにいかに工夫しているかを紹介しています。メスばかりが生まれるチョウの秘密や、ミツバチがメスとオスを自由に産み分けるその方法など、擬人化された13のエピソードは、夢あふれるファンタジーではなく、実際の自然界で見られる彼らの不思議な生態です。

『ほたるいしマジカルランド』 寺地 はるな／著 ポプラ社 **913.6円**



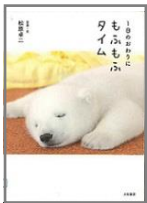
表紙には、今にも楽しい音楽とにぎやかな笑い声が聞こえてきそうな色とりどりのメリーゴーラウンドが描かれています。この本は大阪の遊園地が舞台となり、そこで働く人々に焦点をあてた物語です。ここに登場する人々は、メリーゴーラウンドのようなキラキラした日常を送っているわけではありません。笑顔溢れる遊園地とは対照的に、それぞれが生きづらさや秘密を抱えながら、お客様の笑顔のため、日々業務をこなしていたのでした。葛藤と苦悩の中で働く人たちの成長物語です。

『おかしな本棚』 クラフト・エヴィング商会／著 朝日新聞出版 **020.4円**

背表紙に「本」「図書館」「書店」等の文字を見つけたら、つい手に取ってしまうのは本好きあるあるではないでしょうか。『おかしな“本”棚』と題された本書は、「本は『探すこと』がいちばんの醍醐味」だという著者による本棚の本です。テーマごとの本棚に並ぶ背表紙はどれも魅力的。あれもこれもと気になりますが、著者が創作した実在しない本も紛れていますので、ご注意ください。



『1日のおわりにもふもふタイム』 松原 卓二／写真・文 大和書房 **480円**



表紙には何とも幸せそうな顔で眠っている赤ちゃんシロクマ。その姿に惹かれて中を開いてみると、そこには動物園で撮られたもふもふ達の愛らしい写真が収められています。じゃれあうパンダ、ごろんと横たわるアザラシ、無防備に仰向けで眠るライオンなど。1日のおわりに眺めれば、あまりのかわいさに疲れが癒されることまちがいないです。

『ペットボトルからはじめる水耕栽培とプランター菜園』 はた あきひろ／文・イラスト

内外出版社 **626.9円**

家庭菜園に魅力を感じていても「いざ始めるにはどうすれば良いのかな？」と悩んだことのある方にお勧めです。本書には、わざわざ土や植木鉢を買わなくても、身近な物を利用して家庭菜園を始めるアイデアが多数紹介されています。また初心者にもわかりやすいイラストや写真が掲載されている他、QRコードから動画で育て方を見ることがもできます。



あなたもビブリオトークに参加して、お気に入りの1冊について語ってみませんか？

詳しくはこの面の裏側、また図書館内のちらしをご確認いただくか、職員までおたずねください。

